



中種子堆肥センター 新堆肥舎完成

「11月26日」中種子堆肥センターにおいて、令和2年度地域振興推進事業を活用した新堆肥舎が完成しました。

堆肥は、腐植質の供給と土壌状態の改善や微生物の供給による病害虫の抑制などの効果があり、農業に欠かせない必需品となっています。新堆肥舎を建設することにより、必要な時に堆肥を供給できる体制を構築し、更なる農業生産の活性化や農家・組合員の所得向上に繋げていくことが目的です。

総事業費は3,070万円で、約1,000トンの堆肥を保管することができます。



ブロッコリー 出荷最盛期

「12月下旬」中種子野菜集荷所では、今年産のブロッコリーの出荷が最盛期を迎えています。

今期の管内の作付面積は、昨年より16.5ヘクタール増えて、96ヘクタールとなり、11月中旬の干ばつの影響はあるものの、品質、収量ともに平年並みの作物となつています。昨年度に中種子野菜集荷所に導入した大型製水機の出荷ラインも稼働し、ピーク時は1日約10トンを出荷しています。

出荷作業は5月頃まで続き、生産者196人で約570トンの出荷を見込んでいます。

でん粉原料用甘藷集荷終了!!

* 11月30日、集荷が無事終了しました。

令和2年産のでん粉原料用甘藷については、基腐病の発生で大幅な減収となり、平均単収 50.5 俵、生産量 495,732 袋の実績となりました。

令和3年産の作付け時期が近づいてきました。種芋、苗の消毒や土壌消毒等の基腐病対策を実施し、早期植付けやマルチ使用等により収量向上に向けた取り組みをお願いいたします。



	面積 (ha)	令和2年度 生産量 (袋)	単収 /10a	令和元年度 生産量 (袋)	増減
西之表市	253	111,966	44.2	160,641	△ 48,675
中種子町	462	256,408	55.4	358,176	△ 101,768
南種子町	267	127,358	47.6	177,439	△ 50,081
合計	982	495,732	50.5	696,256	△ 200,524

